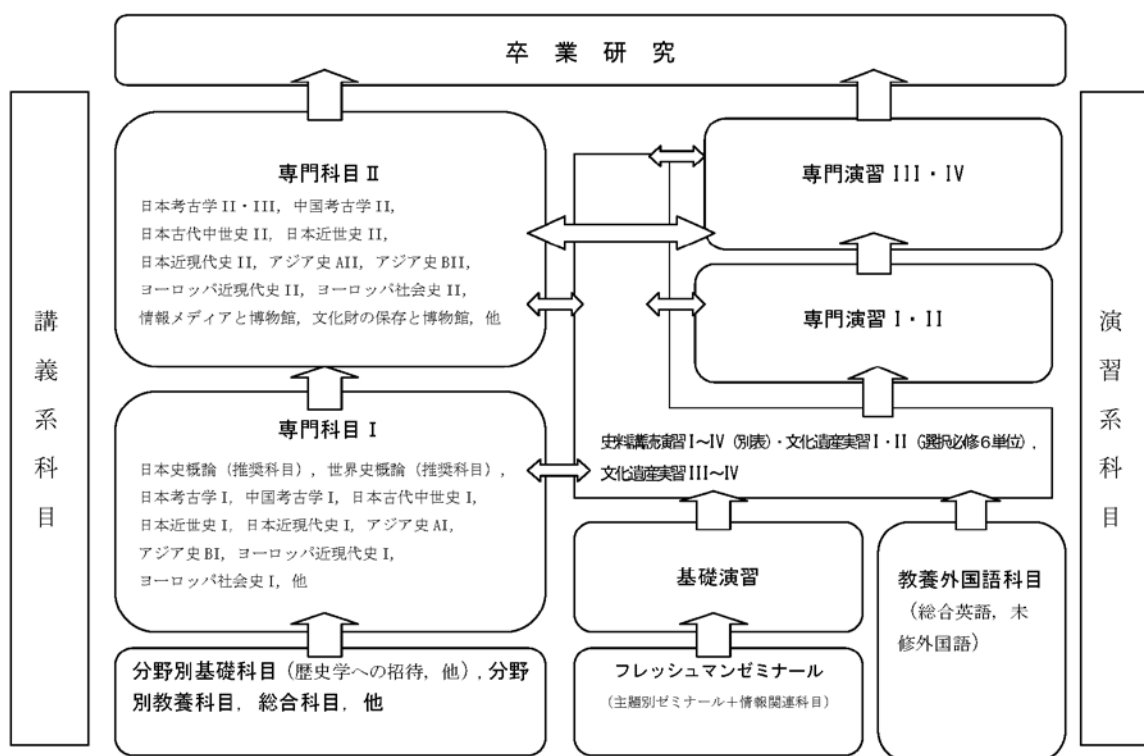


歴史・文化遺産コースのカリキュラムについて

(1) 歴史・文化遺産コースのカリキュラム構成

コースに所属する前の2年次前学期においては、他コースの概論的専門科目を履修して幅広い視野を身につけると同時に、日本史概論・世界史概論を履修し（コース推奨科目）、総合的な知識の修得に努め、専門分野へ進む基礎的な学力を身につけます。2年次後学期からは、講義系科目の履修と合わせて、実習科目及び史料講読演習を選択履修し（選択必修）、理論と実践の両面から歴史学・考古学研究に必要な知識・視点・方法論を身につけます。3年次からはこれらに加えて専門演習の履修が必修となり、4年次の卒業研究作成に向けて必要な知識・方法論を身につけます。

(2) 歴史・文化遺産コースのカリキュラムマップと別表



歴史・文化遺産コース カリキュラムマップ 別表

史料講読演習 I～IV

- 日本古代中世史史料講読演習 I～IV
- 日本近世近代史史料講読演習 I・II
- 世界史史料講読演習 I～IV
- アジア史史料講読演習 A I～IV
- アジア史史料講読演習 B I～IV
- アジア史史料講読演習 C I～IV
- ヨーロッパ史史料講読演習 A I・II
- ヨーロッパ史史料講読演習 B I

(3) 歴史・文化遺産コースの学年ごとの達成基準及び対応授業科目表

		達成基準	対応授業科目
1 年次	通年	①コースでの学修に必要な汎用的な基礎的能力及び語学力を身につけている。	①フレッシュマン・ゼミナール、教養外国語科目（総合英語、未修外国語）、分野別基礎科目（歴史学への招待、他）
2 年次	前学期	①歴史学・考古学の諸分野の概要を知り、その基本的な考え方を理解している。 ②古代から現代までの世界史・日本史の流れを理解し、概括的に説明することができる。	①基礎演習 ②日本史概論（推奨科目）、世界史概論（推奨科目）
	後学期	①歴史学・考古学における史料・資料の扱い方の基礎が身についている。 ②特定の分野の基礎的な史料・資料を自分の力である程度読解することができる。 ③特定のテーマ・事例研究を通じて、歴史学・考古学の研究視点・研究方法の基礎を理解している。	①文化遺産実習 ②史料講読演習（選択必修） ③専門科目Ⅰの選択科目
3 年次	前学期	①概説的文献と専門的文献の違いを明確に認識し、特定分野の専門的研究を批判的に読み理解できる。また、特定のテーマに沿って、研究を進める上で必要な文献目録を作成することができる。 ②特定の分野の基礎的な史料・資料を自分の力でかなりの程度読解することができる。 ③歴史学・考古学の問題について、研究方法や知識の点で、自らの専門性を深めることができる。	①専門演習Ⅰ ②史料講読演習（選択必修） ③専門科目Ⅱの選択科目
	後学期	①卒業研究のテーマを設定し、研究計画を立案、そのテーマ・計画について発表を行うことができる。 ②特定の分野のやや応用的な史料・資料を自分の力である程度読解することができる。 ③歴史学・考古学の問題について、研究方法や知識の点で、自らの専門性を深めることができる。	①専門演習Ⅱ ②史料講読演習（選択必修） ③専門科目Ⅱの選択科目
4 年次	前学期	①設定したテーマ、作成した研究計画に従って、卒業研究の作成に取り組むことができる。 ②特定の分野のやや応用的な史料・資料を自分の力でかなりの程度読解することができる。 ③歴史学・考古学の問題について、研究方法や知識の点で、自らの専門性を深めることができる。	①卒業研究、専門演習Ⅲ ②史料講読演習（選択必修） ③専門科目Ⅱの選択科目
	後学期	①卒業研究をまとめ、成果を適切に発信することができる。	①卒業研究、専門演習Ⅳ、専門科目Ⅱの選択科目

※「フレッシュマン・ゼミナール」とは「主題別ゼミナール」と「情報関連科目」を合わせた呼称です。